

鴨 台 社 事 通 信

“大正福祉マインド”を語り合う

大正大学社会福祉学会（以下、本学会）は、1937（昭和 12）年に社会事業研究室（以下、本研究室）の開室 20 周年を記念した「鴨台社会事業研究会」の設立に始まり、来る 2027 年には「学会設立 90 周年」を迎えることとなります。

本研究室の開室 100 周年を超えた今でも、近代の仏教福祉思想を踏まえた価値原理が基盤になる共生・共済思想と大正デモクラシーを踏まえた“大正福祉マインド”を継承してきました。また、望まれる社会共生に向けた社会福祉を牽引するソーシャルワーク研究・教育・実践を積み上げる螺旋的な循環の志向性と主体性を求めてきました。今後とも社会福祉領域は拡大していくため、新たな分野を共に切り拓き、日々挑戦する姿勢を自らが内実化させる“大正福祉マインド”を語り合いませんか。

新型コロナウイルスのパンデミックは、急拡大した第 6 波の減少傾向でも、引き続き異種株の蔓延が危惧されています。その制約下にある大正大学は、コロナ禍にあってもハイブリッド教育による学事を推進しています。また、恒例の大学祭（鴨台祭）は、秋 11 月から夏 6 月への開催に変更されます。そこで本学会の第 46 回大会は「鴨台祭」との共同開催を計画しています。

私たちが求めている社会共生に向けた持続可能な地域づくりのための福祉課題を切り拓く“大正福祉マインド”を語り合う機会にします。昨年度と同様に西巣鴨からは遠い同窓の会員も参加できるようなハイブリッド・オンライン大会を開催します。是非とも奮って参加くださいますようご案内いたします。

2022（令和 4）年 4 月 30 日

大正大学社会福祉学会 会長 石川到覚

大正大学社会福祉学会 第 46 回大会のご案内

◎日程：2022(令和 4)年 6 月 5 日(日)13 時 30 分～17 時 30 分【ハイブリッド開催】

◎大会テーマ：“大正福祉マインド”を語り合う

- 基調報告：“大正福祉マインド”を紡ぐ～『社会福祉原論』を編むために～
宮崎牧子人間学部長（本学会副会長）
- 三つの語り場
 - * 第 1 研究部会：研究発表の場【研究成果（中間含む）を発表／推薦・公募中】
 - * 第 2 実践部会：実践報告の場【新たな福祉分野の先駆的な取組みを紹介／推薦・公募中】
 - * 第 3 交流部会：情報交流の場【各自自治体・社協活動の情報を共有／話題提供・交渉中】
- 全体会・総会・懇親会

◎参加方法：大会の詳細は「通信」の大正大学社会福祉学研究室 HP「QR コード」から閲覧ください。オンライン大会に参加の方は、事務局 E メール宛 **2022 年 5 月 27 日(金)**までにご連絡ください。大会前には「オンライン Zoom 招待メール」をお送りします。

社会共生学部社会福祉学科の動向

今年も卒業、入学のシーズンを迎えました。この時期は新たなスタートとともに、今までの結果も出る時期でもあります。大正大学社会福祉学科として令和3年度を振り返るならば、実数で評価される年だったと思います。就職者は71名（就職希望者1名を除く）でした。社会福祉士の国家試験は、受験者53名（昨年度54名）、合格者32名（昨年度28名）の増加となっており、合格率も51.9%から60.4%へと、大幅に増加しましたが、何よりもお伝えしたいのが実数で増えているということです。反面、入試の応募状況、入学者数がかなり厳しい状況にあります。その要因は様々ですが、これらに対処するためにも大正大学社会福祉学会のご協力を是非お願いしたいと思えます。

特に、今年度から教員役割に広報担当も新設しました。学会との相乗効果を目指して様々な情報発信をしていきたいと思えます。その他、学内授業改革、資格新カリキュラム開始等、大きな変革期を迎えております。そうした荒波にもまれる船が前に進めるような学科と学会が協働できるように重ねてお願い申し上げます。

人間学研究科社会福祉学専攻の動向

今年度4月より、社会福祉学専攻長を拝命いたしました。専任教員として学科に着任してから早11年が経ちます。大正大学に在籍した学部生、大学院生期間の9年間よりも長くなりました。

昨年度まではコロナ禍で授業も院生指導もほとんどオンラインでしたが、今年度からは対面で今までの授業や研究指導および、院生はフィールドワークができるようになります。

専攻では、昨年度2名に修士の学位を授与し、今年度は学部から進学した2名と社会人が1名の大学院生を迎え、豊島区民社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーと社会人の科目等履修生を3名受入れ、博士後期課程に向けての研究生が1名、在院院生の合計14名が研究に励んでいます。また、認定社会福祉士制度科目も整備し、社会福祉実践者がリカレントとして学ぶ機会を創る改革がさらに必要だと考えており、今後も学会と協働して「大正学派」の継承に向けて検討していきたいと考えております。皆さまのより一層のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

社会福祉学専攻長 金 潔

大正大学社会福祉学会の動向

今年度は、鴨台祭のホームカミングデーに合わせてICTを活用し全国の学会会員同志の「大正福祉マインドを語り合う」をテーマに、交流が深まるプログラムを企画しています。本学科は社会共生学部社会福祉学科と改組となり、新カリキュラムが開始されたこともあって、「大正福祉マインド」を紡ぐ新たな「社会福祉原論」テキストを編纂することにあたっては、基調報告を副会長の宮崎牧子教授が登壇します。会員の語り合う場としての分科会の1つは、社会共生学部では、アントプレナーシップ教育が本格的にカリキュラムのⅢ類のなかで開始されたことから、先達として社会的課題に先駆的实践を展開されている会員に登壇していただきます。2つは、社会福祉協議会に係る職場で実践している会員の交流、3つは、教育及び実践の場で研究活動をされている会員による分科会を設置します。会員同志の交流によって、教育と実践と研究の好循環が紡がれることを期待したいと思います。

大正大学社会福祉学会第46回大会長 坂本 智代枝

大正大学社会福祉学研究室
ホームページ・QRコード：
<http://ohdai-sw.com/index.html>



大正大学社会福祉学会事務局

〒170-8470 東京都豊島区西巢鴨 3-20-1
大正大学 社会福祉学科事務室内

TEL 03-3918-7311〔内線 5770〕

FAX 03-5394-3057

MAIL info@tais-shafuku.sakura.ne.jp

事務局長：熊澤 利和 事務助手：赤坂 真樹



学会マスコット
ぷくまる